

2 教育委員の自己点検及び評価

【教育委員の主な活動】

(1) 教育委員会会議の開催状況

年度	開催日	議題等 件数	出席 委員数 (教育長を除く)	会議に付した主な案件
R2	5月19日	8	5	知事からの意見聴取について、令和2年度大阪府教育庁の運営方針について、令和3年度大阪府立高等学校「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」について、令和3年度大阪府公立高等学校「知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜」及び令和3年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科の「大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜」について、令和3年度使用府立学校教科用図書採択要領及び令和3年度使用高等学校用教科用図書選定の手引きについて 等
	6月19日	4	4	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、令和3年度大阪府公立高等学校等入学者選抜について 等
	7月20日	1	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について
	8月31日	7	5	大阪市立高等学校の大阪府への移管後の名称（仮称）について、大阪市立の高等学校等移管計画（案）について、「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画（2019（平成31）年度から2023年度）」の改訂（案）について、府立高等学校における令和3年度使用教科用図書の採択について、府立中学校における令和3年度使用教科用図書の採択について、府立支援校における令和3年度使用教科用図書の採択について 等
	9月18日	5	5	大阪府教育委員会会議規則の改正について、知事からの意見聴取に対する回答の承認について、令和元年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について 等
	10月19日	4	5	大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和2年度実施対象校（案）について、グローバルリーダーズハイスクールの指定について 等
	11月10日	4	4	令和3年度大阪府公立高等学校の募集人員について、令和3年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科（本校）及び大阪府立高等学校に設置する共生推進教室の募集人員について 等
	12月23日	4	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、令和3年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について 等
	1月18日	7	4	大阪府学校教育審議会に対する諮問事項について、大阪市立の高等学校等移管計画について、「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画（2019（平成31）年度から2023年度）」の改訂について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和2年度実施対象校について、令和3年度公立小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校教職員定数の配分方針について 等
	2月15日	6	5	令和3年度大阪府公立高等学校入学者選抜等における新型コロナウイルス対応について 等
	3月29日	4	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、大阪府立高等学校における知的障がいのある生徒の教育環境整備方針の改定について、令和4年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について、「大阪府視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画」及び「第4次大阪府子ども読書活動推進計画」の決定について
合計	11回	54	52	

(2) 教育委員意見交換の開催状況

年度	開催日	出席委員数 (教育長を除く)	意見交換を行った主な案件
R2	5月19日	5	知的障がい児童生徒の増加対策に関する方針の見直し 等
	6月19日	4	府立高等学校の再編整備 等
	7月20日	5	大阪市立高等学校の府立高等学校への一元化に向けた検討状況 等
	8月31日	5	大阪府知事表彰・大阪スポーツ賞 等
	9月18日	5	府立高校の中長期的な今後の方向性 等
	10月19日	5	府立学校施設の長寿命化整備方針に基づく事業実施計画(案) 等
	11月10日	3	令和3年度 府立学校に対する指示事項、市町村教育委員会に対する指導・助言事項 等
	12月23日	4	学校教育審議会 等
	1月18日	4	令和3年度 予算について 等
	2月15日	5	令和4年度教員選考テスト採用予定数 等
	3月29日	5	令和2年度 優秀教職員等表彰式 等
合計	11回	50	

(3) その他

活動内容	回数	延べ出席委員数（教育長を除く）
学校等視察（学校視察、教育センター視察、成果発表会視察、中学生生徒会サミット 等）	12	18
議会への出席（教育常任委員会、教育常任委員協議会 等）	6	15
選考会議等での審査員（学校経営推進費選考、公募校長面接）	4	5
表彰式（大阪スポーツ賞贈呈、文化の日の表彰、優秀教職員等表彰）	2	7
各種会議、式典への参加（全国都道府県教育委員会連合会、近畿2府4県教育委員協議会 等）	1	1

令和2年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【竹若洋三教育委員】(平成27年6月2日就任)

教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 11回】

【知事からの意見聴取に対する回答について】(基本方針2関係)

*令和2年6月19日開催の教育委員会会議

- ・オンライン学習の環境を整える補正予算措置を評価。オンライン授業の実施にあたっては授業のしかたなり、子どもとのコミュニケーションの取り方等の課題について効果を上げられるよう検討することを要望。

【「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画(2019年度から2023年度)」の改訂(案)について】(基本方針2関係)

*令和2年8月31日開催の教育委員会会議

- ・移管後の起債償還費についてあまり府に負担にならないよう要望。市立高校についても府立と同じように生徒数の減少、入学志願者の推移に伴って再編整備の必要性が出てくるため、早期に検討するよう提言。

【令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果について】(基本方針1、4関係)

*令和2年11月10日開催の教育委員会会議

- ・問題行動の減少について学校現場の努力を評価。これに安心せず、学校が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう不登校、いじめ、暴力行為などの様々な問題についてさらに取組みを進めるよう提言。

【令和4年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】(基本方針1、2、6、7関係)

*令和2年12月23日開催の教育委員会会議

- ・ICTを使った教育や教科指導の研究会の立ちあげについて提起。教育庁が求める方向性や視点について課題を与え、校長会やいろんな企業を含めて導入し、教員が研究する組織を作っていくことが、大阪全体の教育力の向上につなげていくよう提言。

【令和3年2月定例府議会提出予定の議案について】(基本方針1関係)

*令和3年2月15日開催の教育委員会会議

- ・すくすくウォッチの成果について、3年後、5年後を想定して目標設定し、準備を進めるよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、4関係）

*令和2年11月7日開催の 中学校生徒会サミット

- ・府庁本会議場で開催されたサミットで、各市町村から集まった中学生の生徒会代表が「大阪からいじめをなくすために」をテーマに意見交換する様子を視察。

*令和2年11月14日開催の OSAKA多文化共生フォーラム

- ・大阪府教育センターで開催されたフォーラムで、府内から集まった日本語指導が必要な中学生らの交流の様子を視察。

*令和3年2月27日開催の ジュニア EXPO

- ・大阪府教育センターで開催された発表会で、「SDGs」をテーマとして取り組む府内中学校の発表の様子を視察。

【その他】

*大阪府議会への出席 4回（教育常任委員会 4回）

*学校視察 1回（府立富田林中学校） *施設視察 1回（こども本の森） *表彰式出席 2回（文化の日表彰式 等）

自己点検及び評価

令和2年度はコロナ禍の影響で学校教育活動が大きく制約を受けたが、その状況は現在も続いており学校現場の困難さは予想をはるかに超えて大変であったと推測される。教育委員として普段の教育活動や諸行事等の視察ができず、学校教育活動の状況把握に支障をきたした為、府教育庁担当課からの報告に基づき自己点検・評価をおこなう。

1. [基本方針1関係] ○全国学力・学習状況調査は実施されなかったが、府独自のチャレンジテストの結果や、担当課から学校現場の児童・生徒の状況報告を受け、小・中学校の学力向上への取り組みが積極的に実践されていると推測する。併せて、児童・生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果についてもこれまでの積極的な取り組みの成果がみられるものと評価する。
○令和3年度から実施予定のすくすくウォッチについては、大阪府が抱える教育課題の克服の為に状況を的確に分析し学校現場と共有しつつ3年後、5年後の効果のシミュレーションが構築されるよう提言した。
2. [基本方針1・2関係] ○児童生徒に一人一台端末機器の導入が一気に加速され、ICT機器を活用した学習環境が整備されたことは大いに評価したい。しかしながら、ICT機器を活用した教員の指導力や児童生徒の活用能力の格差等々、課題は山積していると考えられる。大阪府教育委員会として有効な活用方法や指導法の構築に早急に取り組むよう提言した。
3. [基本方針6関係] ○教職員の懲戒処分等について、定期的に報告を受ける度に、不祥事を発生させないよう厳しく指摘し、特に校長・教頭の厳格な指導の下、校内体制の確立への提言に努めた。

令和2年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【井上貴弘教育委員】(平成25年10月1日就任)

教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 10回】

【新型コロナウイルス感染症に係る対応について】(基本方針1、2、6関係)

*令和2年7月20日開催の教育委員会会議

- ・現在、オンライン授業は補助的なものという認識かもしれないが、今後は、教科指導の一翼を担うことになることを前提に、生徒の関心を引くための授業のつくりかた等について研究していくことを要望。

【府立支援学校における令和3年度使用教科用図書採択について】(基本方針2、3関係)

*令和2年8月31日開催の教育委員会会議

- ・毎回、教科書におけるスペルミスや誤字等の初歩的なミスが多い。また、実務や現場の実情とかけはなれた知識が教科書に掲載されている。ミスの防止と、世の中の実情にあわせた編集について、教科書会社に対して申し入れるよう要望。

【大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく令和2年度実施対象校(案)について】(基本方針2関係)

*令和2年10月19日開催の教育委員会会議

- ・府でのデジタル化が進むことにより、府立工業高校出身者が活躍する場が広がることにもつながるので、社会が必要としているIT技術やデータサイエンスの技術について、取組みを発展・強化するよう要望。

【令和3年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】(基本方針1、2、6関係)

*令和2年12月23日開催の教育委員会会議

- ・教育のコンテンツについて、「オープンイノベーション」を取り入れ、斬新なサービスやアイデアを持つ企業/研究機関と積極的に連携して取り組むことや効率面について考える必要性を提起。また、教員の負担軽減につながるデジタル化、ペーパーレス化について提言。

【第5次大阪府文化振興計画(案)について】(基本方針4関係)

*令和3年2月15日開催の教育委員会会議

- ・文化芸術は、一回途絶えてしまうと、担い手を育成するのに何十年単位でかかってしまうことから、文化の担い手である民間企業や個人の努力や実態について、意見を取り入れたうえで計画を進めるよう提言。

その他の取組み

【各種会議への参加】（基本方針 2 関係）

*令和 2 年 10 月 29 日開催の会議

・東京都主催の「工業高校での IT 教育」をテーマとした会議に出席。

【その他】

*表彰式出席 1 回（優秀教職員等表彰）

自己点検及び評価

令和 2 年度は、コロナ禍における学校現場の種々な新しいルールや授業形態の在り方について、積極的に提言を行った。

次の 2 点については、特に具体的な提言を行った。

①種々な制限等の基準の明確化（可能な限り定量的な基準の導入や曖昧な規則の改正等）

②学校現場で ICT 活用時の想定される課題の解決

また、教育委員会会議において、オンライン出席の場合での議決の参加を強く求め、教育庁担当者から文部科学省への積極的な働きかけもあり、認められることとなった。今後は、感染症だけでなく、地震等災害時での緊急の教育委員会会議の在り方等についても提言をしていきたい。

令和 2 年度は、コロナ禍により視察等の教育現場の実態把握に関わる活動が制限されたが、来年度は、状況が改善されれば、積極的にその種の活動に参加したいと考えている。また、コロナ禍により経済的に大きくダメージを受けている家庭も多く、児童・生徒の就学に支障が出ないようサポートしていきたいと考える。

令和2年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岡部美香教育委員】(平成28年10月1日就任)

教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 9回】

【令和3年度大阪府立高等学校「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学選抜」について】(基本方針2、4関係)

*令和2年5月19日開催の教育委員会会議

- ・府立高校に通う帰国生徒、外国人の生徒や当該校の先生方への支援を充実し、少数で点在する生徒にもオンラインを活用した支援を進めるよう要望。

【グローバルリーダーズハイスクールの指定について】(基本方針2、4関係)

*令和2年10月19日開催の教育委員会会議

- ・高校卒業後、あるいはその先の進学や就職においてグローバルリーダーとして活躍することを目標にして、高校での学習や高大連携を考えていく時期に来ている。これまでの成果が、それぞれの学校の良さを生かしたさらなる取組みに展開されるよう要望。

【令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果について】(基本方針1、2、4関係)

*令和2年11月10日開催の教育委員会会議

- ・不登校については、社会体制の不安定さも原因と考えられることから、ソーシャルワークの知識や連携先などの情報を持っている教員を育て、学校が福祉とつながる体制を整備するよう要望。また、暴力行為への対応として、子どもが自分の思いを言葉にできる力をつける教育のアプローチを提言。

【令和3年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】(基本方針1、2関係)

*令和2年12月23日開催の教育委員会会議

- ・教員の努力だけでは、グローバル化やICT化に対応が難しい時代になっている。ICT機器の活用について対応が遅れないよう、学校や市町村の壁を取り払い、コンテンツを共有するなどの方策を提言。

【「大阪府視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に関する計画(案)」及び「第4次大阪府子ども読書活動推進計画(案)」について】(基本方針4関係)

*令和2年12月23日開催の教育委員会会議

- ・バリアフリー計画について、インクルーシブ社会を作っていく一環として計画があることを前面に出すよう提言。また、子どもの読書推進計画について、大人の役割を強調し、教員や保護者の意識改革についても教育委員会から働きかけるよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、4関係）

*令和3年2月27日開催の ジュニア EXPO

・大阪府教育センターで開催された発表会で、「SDGs」をテーマとして取り組む府内中学校の発表の様子を視察。

【その他】

*大阪府議会への出席 4回（教育常任委員会 2回、定例府議会本会議 2回）*表彰式出席 1回（文化の日表彰式 等）

*学校視察 4回（松原高等学校 枚方市立東香里中学校 等） *施設視察 2回（府立中央図書館、こども本の森）

自己点検及び評価

令和2年度は、コロナ禍による教育格差の拡大を可能な限り抑制・防止するために、さまざまな困難を抱える児童生徒への学習・進学支援について助言を行った。特に次の点に注力した。

- ① 松原高校、阿武野高校、芦間高校を視察し、府立高校における支援教育の現状を調査するとともに、そのあり方について助言した。
- ② 府立中央図書館を視察し、子ども向け書籍の多言語化の状況について聴き取り調査を行うとともに、その整備について助言した。
- ③ 中学校夜間学級主管課長会に出席。守口市立さつき学園、大阪市立天満中学校、同天王寺中学校にて、夜間学級のニーズに関する聴き取り調査を行うとともに、学習支援・進学支援のあり方について助言した。
- ④ 大阪大学を始め近隣大学の大学生・大学院生（留学生含む）の組織とつないで、教育庁小中学校課が作成した学習教材を9言語に翻訳できるよう支援した。翻訳した動画は、教育庁のHP「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート」で「多言語家庭学習動画」として公開している（この翻訳作業への支援は、令和3年度も継続中）。

令和3年度も引き続き、コロナ禍による格差の拡大を抑制・防止するべく、上記②③④を始め、府内の学校等における児童生徒の学習・進学支援に関するシステムの整備と支援人員の組織化について積極的に提言していきたい。また、令和2年度には十分に遂行できなかった高校生のキャリア教育および就労支援・定着支援に関する政策の考案と改善に努めたい。加えて、小中学校課が進めているジュニア EXPO の取組みをさらに推進するべく、その制度整備に取り組んでいきたい。

令和2年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【中井孝典教育委員】(令和2年4月1日就任)

教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 11回】

【新型コロナウイルス感染症に係るこれまでの対応について】(基本方針1, 2関係)

*令和2年5月19日開催の教育委員会会議

・オンライン授業については一長一短があるが、新しい教育を展開するチャンスととらえ、有効性をしっかり見極め、取り組むよう提言。

【令和3年度大阪府公立高等学校等入学者選抜について】(基本方針1, 2関係)

*令和2年6月19日開催の教育委員会会議

・現時点で公立高校入試の出題範囲を2割程度の削減を判断したことを評価。削減された内容が未学習にならないように指導するよう要望。

【グローバルリーダーズハイスクールの指定について】(基本方針2, 4関係)

*令和2年10月19日開催の教育委員会会議

・当初の目標は達成していることを評価。進学実績は結果としてついてくるものであり、グローバルな生徒を育成するという観点を今後さらに追及するよう要望。また、指定校10校に限らずグローバルな人材を育成するスタンスを発展させるよう要望。

【令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の調査結果について】(基本方針1, 2, 4関係)

*令和2年11月10日開催の教育委員会会議

・不登校については、生徒の事情を個別検討し、進級基準に弾力的に取り組むべきで、原因について高校等でもっと精査されることを提言。生徒に寄り添い、学校だけで問題解決にあたるのではなく外部とのつながりを広げ、いじめ、不登校、中途退学を減らすよう要望。

【大阪府学校教育審議会に対する諮問事項について】(基本方針2, 7関係)

*令和元年1月18日開催の教育委員会会議

・大阪府がめざしている卓越性と公平性、多様性を全ての方向についてさらに深めていくことは意義のあることと評価。将来の日本、大阪を背負って立つ人材を育てることも重要であり、その観点もしっかり議論されるよう要望。

その他の取組み

【各種行事の視察等】（基本方針1、4関係）

*令和3年2月26日開催の ジュニア EXPO

・大阪府教育センターで開催された発表会で、「SDGs」をテーマとして取り組む府内中学校の発表の様子を視察。

【各種会議の参加】（基本方針2関係）

*令和3年2月3日開催の 都道府県・指定都市教育委員研究協議会

・文部科学省（オンライン）で開催された研究協議会で、「高等学校（普通科及び職業系専門学科）の魅力化について」をテーマとして他府県・指定都市の教員委員と意見交換。

【その他】

*大阪府議会への出席 5回（教育常任委員会 4回、定例府議会本会議 1回）

*学校視察 1回（府立富田林中学校） *施設視察 1回（こども本の森） *表彰式出席 2回（文化の日表彰式 等）

自己点検及び評価

1. 【新型コロナウイルス感染症に係るこれまでの対応について】（基本方針1、2関係）

従前から ICT を活用した教育の改善が求められている中、コロナ禍による休業休校を乗り切るために多くの学校がオンライン授業等に取り組んだ。しかし、各学校では ICT に卓越した知識・技能を有する教員がそれほど多くはないと思われることから大阪府教育センター等が積極的にサポートするように提言した。新しい教育を展開するチャンスと捉えて ICT を使った教育が益々発展して行くように支援して行かねばならないと考えている。

2. 【グローバルリーダーズハイスクールの指定について】（基本方針2、4関係）

約10年前に GLHS が設置された。以前は明確に将来の日本や世界をリードする優秀な人材の育成をめざした学校の設置は無く、極端な平等主義がはびこる大阪の教育にとって画期的であり素晴らしい取組みであった。今後、世界はさらにグローバル化するとともに AI の発達等により今までは全く違う社会が出現すると予想されている。そのような不確実な社会を生き抜くためにも GLHS の10校に限らずグローバルな人材育成を実現するように提言を継続したいと考えている。

3. 【その他】 昨年度は教育委員として1年目でもあり大阪府の教育について十分な提言が出来たとは言えなかったが、大阪府がめざしている卓越性と公平性、多様性を推進して行く教育方針を支持し、大阪の教育が日本一となるように微力であるが全力を尽くしたいと考えている。

令和2年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【森口久子教育委員】(令和2年10月1日就任)

教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 6回】

【知的障がいのある児童生徒等の教育環境に関する基本方針について】(基本方針3関係)

*令和2年10月19日開催の教育委員会会議

- ・今後も診断技術の向上を背景に知的障がいのある児童生徒等の増加がつづく中、障がい理解の共通化等を図る上で、早期支援の仕組みの確立が重要であり、知的障がいのある子どもたちの教育環境のさらなる充実を計画的に進めていくべきと提言。とりわけ、支援学校によるセンター的機能がより適正に発揮されるよう、充実した人材配置を行うことを併せて提言。また、知的障がい以外の視覚、聴覚や医療的ケアに係る専門スキルの維持、向上が課題。これらを踏まえた人事異動のルール確立や新任教員研修の充実等の必要性について提言。

【令和3年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について】(基本方針7関係)

*令和2年12月23日開催の教育委員会会議

- ・学校の組織力向上と開かれた学校づくりのために働き方改革が必要だが、教員の業務負担は決して減っていないというのが現状。仕事内容のコンパクト化とメンタルのフォローを目に見える形で教職員に示されないと働き方改革につながらないのではないかと提起。もう少し具体的な方策に踏み込むよう要望。

【「大阪府視覚障がい者等の読書環境の整備の推進に係る計画(案)」及び「第4次大阪府子ども読書活動推進計画(案)」について】(基本方針4関係)

*令和2年12月23日開催の教育委員会会議

- ・子どもの読書について、本の活用についての視点を変えて、あるものを読むだけでなく読みたいものを作ることも並行して考えることで、文を書くことや物事の構成等に気づくことも視点に入ってくるのではないかと提起。子どもたちが能動的に読む方法を工夫するよう要望。

【「GIGAスクール構想の実現に向けた計画等確認書」について】(基本方針1、2、6関係)

*令和3年2月15日開催の教育委員会会議

- ・GIGAスクール構想により教員に負担をかけないよう、サポーターをたくさん養成する必要がある。また、一人一台端末によって子どもたちに何を求めるのか明確にすべきであり、オンライン授業により教育の質も変わってくるため、教育委員会として目標値を明確するよう提言。

その他の取組み

【各種会議への参加】（基本方針3 関係）

*令和3年2月3日開催の 都道府県・指定都市教育委員研究協議会

・文部科学省（オンライン）で開催された協議会で、「特別支援教育」をテーマとして、他府県・指定都市の教育委員と意見交換。

【その他】

*大阪府議会への出席 2回（教育常任委員会 1回、定例府議会本会議 1回） *表彰式出席 1回（文化の日表彰式 等）

自己点検及び評価

令和2年度は、「知的障がいのある児童生徒等の教育環境の充実」「新型コロナウイルス感染予防対策と教育活動」「学校教職員の職場環境改善」の観点から、学校医・学校産業医活動を通じて、また学校教育関係の会議等で意見表明並びに助言を行った。

- ① 診断技術及び治療技術の向上に伴い発達障がい・知的障がいの有る児童生徒の増加が続く中、インクルーシブ教育とシステム構築が必要。特に、いわゆるグレーゾーンの子ども達への早期支援体制の確立が重要である。また支援学校のセンター的機能が効率良く運営されることで、知的障がい以外の視覚、聴覚、重複障がい、医療的ケア児を含めた支援教育の質の向上が望める。2点の提案が令和3年以降の支援教育の充実に反映されるよう努めたい。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大により GIGA スクール構想の進捗が増した。ICT 機器利用による視力への影響、インターネット依存課題、インターネット環境整備が滞ることによる教育格差、オンライン授業準備に係る教職員の負担増大が危惧され、これに対する的確に対応する必要がある。学校の安全、安心を守りながら教育活動を継続する事、および学校での感染対策、感染者への対応などについては令和3年特別重点項目新型コロナウイルス感染に係る対応に於いて、医学的見地から指導助言を行った。今後も必要な協力を行う。
- ③ 教職員の業務負荷、メンタル不調への対応はいまだ十分でなく、今後の新型コロナウイルス感染症の状況が見通せない中、教職員の健康課題は学校産業医として危惧するところである。そのため令和3年度府立学校及び市町村教育委員会に対する指導助言において、教職員業務のコンパクト化、メンタルフォロー体制の強化を具体化することを提案した。また大阪市立の高校の府立高校への移管課題について発言、提案した。